

露光量違いにより重複撮影

國民合唱
一日の汗をぬぐひて

恩田幸夫作詞
横井文彦作曲

胸が熱く(シ-約50)

か - れ - た - も - こ - ら - た
か - れ - た - も - こ - ら - た
か - れ - た - も - こ - ら - た
か - れ - た - も - こ - ら - た
か - れ - た - も - こ - ら - た
か - れ - た - も - こ - ら - た
か - れ - た - も - こ - ら - た
か - れ - た - も - こ - ら - た
か - れ - た - も - こ - ら - た
か - れ - た - も - こ - ら - た

一日の汗をぬぐひて
恩田幸夫作詞

(一)
一日の汗をぬぐひて
夕映の丘にのぼれば
父母のいつもやさしく
笑み給ふ空の彼方に

(二)
疲れたる體をなげだし
筋くれの指をかざせば
さやかと風は情に
ふるさとの歌を歌ふよ

東道と再本道大
木上 昭日午 七
時半より放送

週報

第三〇四號
八月五日

心緩めず建設の必成へ………ニ
中小再編成協議會について
商工業省…五

戦争と船腹………二
建艦と造船の一元化
大本營海軍報道部…七

防空待避所の作り方
内務省…元

米國の對印野望………三
體力章檢定に
水泳が加はりました
厚生省…六

大東亞戰爭日誌………三

週 間 日 誌

七月二十三日(木)
▽大東亞の續業 工業および
電力建設基本方針ならび
に大東亞の金融 財政および
貿易基本方針の答申案を
大東亞建設協議會第五回總
會で可決

▽ロレンソ・マルケス(米)
フリアにおいて日米外交官
らの交換を完了
七月二十四日(金)
▽第五十四回(陸軍第三十九回)
支那事變論功行賞の御沙汰
あらせらる

▽海軍航空部隊の ニューギ
ニア方面の戦果三月二日以来
七月二十日までに四回四千機
を撃墜)を大本營発表

▽全國四大地域の新聞統合
方針を閣議で決定

▽獨軍、ロストフを占領
七月二十五日(土)
▽マレー沖海戦に参加の海
軍航空部隊に對し山本聯合

艦隊司令長官より感状を授
與 この旨、上閉に達した
旨、海軍省公表
七月二十七日(日)
▽帝國海軍水廠の新戦果(敵艦
八隻、七方二トント)を大本
營発表

七月二十八日(月)
▽行政簡素化實施案を閣議
で決定
▽重要産業指定規則追加改
正の件(公業、九部門)に對する該
別府設立を指しを閣議で決定
▽日本銀行より中央儲備銀
行へ一億圓の借款契約なる
七月二十九日(火)
▽廣田泰特派大使ら(藤原
等)の戰時特例に關する所管
改正の勅令を公布實施
七月三十日(水)
▽宮中において明治天皇三
十年式年祭の御儀を執り行
はせらる

心緩めず、建設の必成へ

大東亞戦争の勃發以來八ヶ月、御稜威の下皇軍將兵の善謀勇戦は、大陸に、大洋に、また大空に、全世界を驚倒せしめる赫々たる戦果をあげ、今や皇軍は磐石の戦略的態勢を整へるに至り、さらに、大東亞をめぐる太平洋、インド洋の全面から米英勢力を撃滅せば已まぬ概を以て、皇軍獨得の雄渾な作戦行動を不斷に進めてゐるのである。

かく必勝の態勢を確立すると同時に、新秩序建設に必要な措置も着實に進められ、建設必成の基礎的な態勢も確立されたといふことが出来よう。

支那大陸においても、抗日の動脈であつた浙贛線を占領すると同時に、北支、中支、南支に亘つて作戦行動を展開し、重慶政権に痛撃を與へてゐるが、汪精衛氏を主席とする國民政府は、清郷區域の擴大、舊法幣の駆逐など目ざましい成果を収め、その基礎は日一日と育成強化されてゐる。

さらに歐洲では、盟邦樞軸國の不撓不屈の敢闘によつて、北阿に英軍を撃破し、大西洋に米英の船相を撃沈し、戦局は樞軸側に極めて有利に展開してゐる。

かく米英兩國と重慶政府が日一日と崩壞の過程を辿つてゐる時、日滿華三國の提携はいよいよ固く、秦國も同志として緊密に我が國に協力し、南方諸地域の諸民族も我が國の眞意を理解して、心からの協力を示してゐる。大東亞戦争における日本の勝利は、いよいよ確乎不動のものとなつたといふことが出来よう。

しかし米英は、その恃みとする物質的威力の増強に努め、或ひはギリヲ戦により、或ひは思想戦、宣傳戦によつて我が國内結束の弛緩を圖るなど、あらゆる方法によつて必死の反攻を企ててゐる。全世界に亘る米英勢力を根柢から覆滅し、屈服させるためには、今後武力戦はもとより、政治、經濟、思想などあらゆる方面において敢然として戦ひを續けねばならない。

今や作戦必勝、建設必成の基礎は成つたが、これは飽くまで大東亞共榮の基礎が成つたといふに止まり、大東亞戦争の勝敗の鍵は、正に今後の建設の成否如何にかゝつてゐるのである。必然的に長期建設戦の性格をもつ大東亞戦争完勝への途は、さらに遠く長いことを覺悟しておかねばならない。

もし萬一、赫々たる今日の戦果に心緩み、或ひは今後の長期戦に倦むやうなことがあつたとすれば、折角今日までに築き上げた必勝の態勢、必成の基礎も晝餅に歸する虞れが絶対にないとはいへないのである。

われは勝つて兜の緒を締めて、すべての力を戦争完遂の一點に集中し、建設戦を戦ひ抜かねばならない。建設とは、現地における經濟建設だけではない。建設戦は前線と銃後を通じ、經濟・政治・思想のあらゆる面に戦はれなければならないのである。長期建設戦を戦ひ抜くための國內態勢の強化こそ今日の急務であり、銃後奉公の途である。

國內態勢強化の根本方針は、必勝の二字に盡きる。銃後奉公の要諦は、皇軍が縦横に作戦を行つて敵を屈服させることが出来るやう銃後の勤めを果たすことにある。

第一線將兵の念頭を常に離れぬものは銃後のことである。銃後に後顧の憂ひのない將兵にして初めて、身命を擲つて戦ひ、あの大戦果をあげることが出来るのである。畏くも昨年十二月八日の宣戦の大詔は國民の擲ふべきところを示させ給ひ、これによつて一億國民は、私を捨て己れを空しうして大東亞戦争

を完遂する一つ心に統一されたのである。翼賛政治會の機能の刷新擴充など、今や國を擧げて渾然一體となり、大東亞戰爭の完遂に邁進してゐるのであるが、戰爭の遂行には國民の精神的結束の強化が先づ第一に最も必要である。

次に、今日のやうな廣大な地域に作戰し、殊に豊富な物資と大規模な生産力を唯一の頼みとする米英を壓搾するためには、我が方の兵器、軍需品も、質量ともにまず／＼強化擴充せねばならぬことはいふまでもない。軍需品の増産とその質の向上は、大戰爭を勝ちぬくための缺くべからざる切實な要求であるから、これら軍備強化に必要な生産擴充の遂行が絶対に必要である。

長期戦を戦ひ抜くために、國民が最小限度の生活に、不安なく明朗に邁進し、銃後を護りながら奉公し得ることが必要なことはいふまでもないが、このために政府は、食糧の増産、物資の増産配給など各方面に必要な戦時態勢を確立しようとしてゐるのである。

その他大東亞を擔ふべき優秀な次代國民の養成、即ち教育の充實刷新も緊要である。

建國二千六百二年、今日こそ世界に皇道を推し廣めるために、全國民が一九となつて邁進すべき秋である。銃後にあつては、國內態勢をいよ／＼強化して、飽くまで聖戰完遂する決意を固むべき秋である。

銃後一億は、開戦以來わが國民性の優秀さを發揮して見事に戦ひ抜いて來たのであるが、戦ひの勝敗はこの態勢を最後まで續けて行きて得るかどうにかかつてゐるといふことが出来る。戦ひがたとへ百年戦争にならうとも、萬が一にも「熱し易く冷め易い」などの批判を受ける不覺をとつては絶対にならないのである。

中小商工業再編成協議會について

— 企業整備の進展 —

商 工 省

小賣業整備の仕事も、いよ／＼具體的な整理統合計畫を樹て、實行に移す域に到達致しました。各道府縣廳が中心となつて、その實施に當るべきは當然であります。中小商工業再編成協議會が、企業整備に關する官民協力の機關として、また道府縣廳の補助機關として、非常に大きな役割を擔當するわけがあります。すでに殆んど全部の道府縣に亘つてその設立を見、所によつては部會の組織も出來て、いよ／＼活潑な活動を開始しようとする態勢にあります。この中小商工業再編成協議會は、どんな趣旨で設立されたものであるか、どんな組織になつてゐるか、また中小商工業、とくに小賣業の整理統合上どんな役割を擔當するものであるか等について、概略を述べて、中小商工業の再編成に關係される人々の御參考に供したいと思ひます。

設置の趣旨

この再編成協議會は、中小商工業の再編成が、官民一致の協力によらなければ、到底所期の成果を收めることがむづかしい實情にあるため、地方長官を中心として、關係各方面の有力者を網羅し、官民の總力をこれに結集し、その強力な推進力によつて、中小商工業者の整理統合と職業轉換を圓滑迅速に實施したい、といふ趣旨から設け

られた制度であります。

またこの協議会には、これまでの中小工業の整理統合に、しばしば見受けられた欠陥を是正し、今後の整理統合の實施上、萬遺憾のない取扱をしたといふ狙ひも含まれてをります。すなはち、これまで轉業者の決定は、商業組合、工業組合等の業者團體が自主的に行つてゐたのですが、往々にして一部理事者が利己的な専斷を行ふとか、或ひは理事者が公正であつても、一般業者は疑心暗鬼の眼を以てみる。その結果、業界に不平不満の聲が絶えなかつたのであります。轉業者の選定を出来るだけ公正に行ひ、業界の暗雲を一掃したい、これがその狙ひの第一であります。

またこれまでの整理統合ならば、いざ知らず、今後の整理統合のやうに、全面的に且つ計畫的に整理統合するとすると、組合はその中心機關としては

甚だ微力に失するといはざるを得ません。そこで當該府縣下の各方面の有力な人物を網羅した一種の輿論的な機關を設け、これによつて整理統合を正々堂々と強力に推進するやうになつたのが第一のねらいであります。

またこれまでの整理統合には、兎角総合的な計畫性を欠く憾みがなしとなかつたのであります。たゞ單に企業業の整備に關する計畫だけでなく、職業轉換、生活安定の問題を三位一體の關係において総合的計畫を樹てるやうにし、それと同時に關係各方面の連絡を緊密にして、総合的に立案された計畫が、間然するところなく圓滑、迅速に行はれるやうにしたいといふことが第三であります。

轉業者の職業轉換には、國民職業指導所、國民勤勞訓練所及び緊要産業の工場、事業場等の營業用資産の處理、共助施設等については、國民更生金庫

の協力が必要であり、また官廳側關係部課との緊密な連絡がなければなりません。これ等の關係各方面の連絡協力機關としても、この協議会が設けられたわけであります。

組織と役割

再編成協議会は、中小工業の再編成に關係のある官民有力者を網羅した道府縣單位の協議会であります。地方長官が自ら會長となつてこの協議会を主宰し、管下の商業組合とか工業組合、商業報國會、商工會議所等の産業團體の代表者とか、轉業者を雇入れる立場にある緊要産業の事業主とか、大政翼賛會の關係者とか、道府縣廳の關係官吏（總務部長、經濟部長、學務部長、警察部長、市町村長の代表者とか、國民更生金庫支所長とか、その他學識經驗者を委員とすることになつてをり、その政は地方

長官が適當に決めるわけでありませう。

さて、その仕事は何かと申しますと、地方長官の諮問に應じ、または自發的に、企業の整理統合の實施に關する一般方針とか、組合等の共助主體の間に生ずる轉業者への共助の不均衡を是正する方法とか、職業轉換の指導轉換とか、その他中小工業再編成の實施に關する諸般の方策を審議するわけでありませう。委員の顔ぶれからいつても、協議会そのものは、再編成實施上の大綱を取上げ、委員の持つ推進力によつて、整理統合を圓滑に實行しようといふいはゞ政治的な効果をねらふところ、その特色があるといへませう。

従つて、この協議会そのものが、個々の具體的な整理統合計畫の立案に參與することは事實上困難であります。そこで、協議会の中に部会を設け、業種、業態、地方事情に即した具體的な整理統合計畫の立案に參與させること

になつてをります。部会の委員は、業界の事情に明るいその道の専門家でなければなりませんので、經濟部長自ら部會長になり、關係商業組合、工業組合または同聯合会の役員とか主事書記長等の職員、商業報國會關係者、商工會議所及び市町村の係員、國民更生金庫關係者、翼賛壯年團關係者、官廳側からは商工課長、商工主事、職業課長、國民職業指導所の代表者、その他學識經驗者を委員とすることになつてをります。

部会は道府縣單位の商業組合、工業組合または同聯合会が整備されてゐるときには、これを單位として構成することになつてをります。例へば、食料品について縣單位の食料品商業組合聯合会が出来てゐるときには、協議会に食料品部会をつくるわけですが、その趣旨は部会と業者團體とが表裏一體の關係において計畫の樹立實行に當るやう

にするところにあります。

もし組合の組織が未だ整備されず、同一の食料品店が、砂糖、菓子、乾物、雜穀、海産物等の取扱商品別に多數の組合に所屬してゐるやうな場合には、その何れの組合でも食料品店をのものが、総合的な整理統合計畫を樹てることは出来ませんので、部会の構成を食料品全般に亘る包括的なものとして、これに關係組合の代表者を参加させて、総合的な計畫の樹立に便するやうな考慮が必要であります。

部会は主として業種、業態別に設けられるものですが、必要に應じ各業種に亘る一般的事項、例へば共助施設について、特殊の部会を設けることも差支ありません。

部会の仕事は、個々の業種について整理統合の結果、後に残る企業體制をどうするか、どんな方法で整理統合をやるか、職業轉換をする者の決定

をどうするか、共助金交付、職業轉換の指導轉換とか、その他當該商工業の整理統合に關する具體的な計畫の樹立に參畫するわけでありませぬ。なほ部會の決議を以て協議會の決議とすることが認められてをります。

ところで、部會だけではまだ足りないといふやうな場合には、部會の中に更に業種別または地域別に、支部または小委員會のやうな下部組織を設ける必要が起つて來るわけで、必要に應じてこのやうな下部組織をつくることも差支ありません。その組織構成をどうしたらよいかは、大體部會に準じ、具體的な事情に應じて地方廳で適宜に決めることになつてをります。

實際の運用

以上が再編成協議會とその部會、支

部等の組織の概要であります。これが實際にどう運用されるかは、地方廳により、業種業態によつて、必ずしもその軌を一にしません。大體の要領を次ぎに説明致します。

地方廳が中央主務省の指示に従ひ、或る業種について整理統合に着手するときは、まづ第一に、再編成協議會を開いて主務省並びに地方廳の方針を説明し、これに對する委員の意見をきき、具體的な整理統合案の作成を付議します。協議會は、右に關する大綱を決定した上、當該業種に關する部會を設け、立案上留意すべき事項を示して具體案の作成に當らせます。

部會は、關係委員の代表する各方面の意見を綜合して轉業者決定の具體的な基準等を決定し、業者團體と協力して、整理統合の具體的な試案を作成するわけです。かうしてできた試案を、

部會で各方面から検討を加へ、協議會案として成立したものを地方廳に呈し、地方廳がさらに検討した上で地方廳の方針として決定し、これを商業組合、工業組合等の業者團體に實施させるわけです。

轉業者の選定も、整理統合計畫の一部として上に述べた要領でされることは勿論ですが、事柄の性質上、試案程度のもので協議會が決めることも困難な場合がないとも、いへません。このやうな場合には、地方廳自ら業界の事情に明るい者を囑託とし、官公吏に準ずる地位と責任を以てこれに參加させながら、轉業者の選定をしなければならぬ場合もあるかもしれませぬ。

整理統合計畫の樹立實行上、特に留意を要することは、**企業の整備、職業轉換、生活安定の三者を三位一體の關**

係において綜合的に取扱つてゆくといふことであります。企業の整備は自體の問題、すなはち整備された後に残存する企業の形態、規模、數、分布状態をどうするか、またこれまでの企業をどんな方法で整理するかは、整理統合の中心をなす重要問題であります。それが、それだけで十分といふわけにはありません。

企業の整備に伴つて、これまでの用に供されなくなつた資産をどう處理し、またその活用を圖るか、轉業すべき人員をどうして他の緊要部門に轉換させるか、或ひはまた整理統合に必要とされる資金をどうして調達支給し、轉業者の負債をどうして整理するか、といふやうな企業の整備に伴ふ物、人、金の問題も同時に解決する準備を整へた上で整理統合を實施するの

ら行きづまり、或ひは物資動員とか、國民動員等の他の重要國策の遂行に寄與できないといふ結果を招くことになるのであります。

これ等の整理統合に伴ふ物、人、金の問題については、政府ではそれ／＼適宜の施設方策を講じてをり、また再編成協議會には、それ／＼關係方面の代表者が入つてゐるわけですから、これ等の人々を通じて政府の施設を適當に利用するやう考慮を拂ひ、綜合的な計畫の樹立實行に手ぬかりのないやうに運営してこそ、初めてこの協議會の本來の機能を發揮できるのであります。

中小商工業再編成協議會は、中小企業の整理統合を實施する中核的機關で、その使命は本當に重大であります。これには、地方廳の積極的な企業指導を必要とするといふまでもあり

ません。また商業組合、商業團體、工業組合等の業者團體は、整理統合計畫の樹立實行、特に實行の部面において協力すべきことが要請されてをります。特に、小賣業の整理統合に當つては、商業組合と商業報國會とが表裏一體の關係において、すなはち商業組合は小賣企業の合理化、配給機構の整備、配給方法の改善等、いはゆる配給の適正化といふ部門において、商業報國會は勤勞奉仕隊の活動を中心とする職業轉換促進の分野において、それ／＼その特色を發揮し、相協力して整理統合の實施に當るわけであります。

道府縣廳を中心とし、中小商工業再編成協議會と業者團體が緊密な連絡を保持し、官民渾然一體となつて進むことによつて、初めてこの重要なまた困難な事業の圓滑な遂行と、有終の成果とを期すことが出来るのであります。

戦争と船腹



海賊國イギリスと船

世界一の「紳士の國」と自ら任じてゐるイギリスに、「海賊(バイレット)といふ煙草がある。」「金鶏」「光」「櫻」といふやうな煙草を手にしてゐる我々の常識では、一寸考へられないことであるが、しかし「海賊」は、實にイギリス帝國の國是であり、最も具體的に表現された英國史であるのである。まことに「海賊」こそは、イギリスの祖先が残した「教訓」であり、この言葉の裡に、彼らは懐しい心の故郷を感じるの

である。
わが本州と四國を合せたよりも狭い二十四万平方キロの領土しか持たなかつた十六世紀前のイギリスにとつて、最も「経済的」に生き、發展する途は、「海賊行為」をすることであつた。即ち彼らイギリス人は、スペインやポルトガルの商船が、植民地から財寶を積んで歸つて来るのを、途中で待ち受けて掠奪したり、また各地の港を襲つて財産を掻き上げ、着々と巨富を築き上げて行つたのである。
しかも、この海賊行為は、王公その

他から經濟的援助を受けて公然として行はれ、例へば、サー・フランシス・ドレークなどは、三十二万ポンドの掠奪品を持ち歸つたために、時の女王マリー・サベスは、いたくその殊勳を賞でて、ナイトの勲位を與へた程である。
世界地圖を披いて見るまでもなく、ヨーロッパの一端に偏在する小さな島國イギリスは、この國是である「海賊行為」を常に一貫して實踐し、僅か三百年の間に、アフリカ、アメリカ、アジア、オーストラリアの諸大陸に、廣袤四千万平方キロ、世界の全陸地の五分

の二に相當する植民地を持ち、「七つの海を支配す」と誇り、「ユニオン・ジャックの飄る所、太陽の没することなし」と豪語し、「海を制するものは、世界を制す」とうそをいひつたのである。
まことに海賊なればこそ、大海原を渡つて異國をわがものとし、山なす財物を寶船として本國に持ち歸ることが出来たのである。彼らの操る優れた船と貪慾な「建國精神」は、彼らを遠く驅つて、その魔手を全世界の隅々にまで伸ばさせ、さらに彼らの船と資源を護るために、強大無比と稱するイギリス海軍が生まれたのである。
イギリスが必要とするあらゆる物資は、すべて船によつて本國へ運ばれて來た。イギリスの母親は食事毎に、その子供に、「そのパンは、海を守る人の賜なんですよ。ですから海に働く人に感謝せねばなりません」と教へ、また港に繋がれてゐる色褪せた貨物船

を指さして、「あの貨物船と乗組員が、イギリスに盡した功績は大變なものですよ。海こそはイギリスの母ですよ」と訓へて來たといふことである。
しかし船は、單に物を運ぶに過ぎない。その物を送り出すために、全世界の虐げられた民族の血と汗が、どのやうに流され、絞られたかは、イギリスの母親の教訓の中にはなかつたのである。
それはとにかくとして、全てのものは、船によつて運ばれ、贅澤三昧なイギリス人の「文化」生活を、世界一の富國を築き上げたのである。
まことに、海こそは、船こそは、イギリスの生命であり、母であつた。従つて一度、戦時ともなつて交通路が破壊され、「寶船」が不足して來ると、戦争どころか、イギリス國民の咽喉がまづ第一に干あがつてしまふことになるのは當然で、船腹の不足のためイギリ

前大戦當時の苦汁

スは、嘗て忘れることの出来ない苦い經驗を嘗てゐる。
第一次歐洲大戦の時、ドイツは大正六年(一九一七年)二月から無制限潜水艦戦を開始し、同年四月にはイギリス船四百七十隻、八十七万トンを撃沈し、同年二月から六月までの平均撃沈高は、一ヶ月三百三十三隻、六十三万トンに及んだのであつた。ところが造船の方は、當時の英・米・佛・伊・日等を合せて、僅かに一ヶ月三十万トン程度で、これのためイギリス船は、差引き月に三十餘万トンが減少して行つた。
明けて大正七年(一九一八年)の春になつても、相變らず撃沈トン数は、新造船トン数を月に十萬トンも越して、イギリス國內の食糧は、餘すどころ後わづか二、三週間分とまでいはれ、イギリス國民は最後のどたん場に迫ひ

こまれたが、英佛側の懸命の造船とアメリカの参戦によつて、獨逸は遂に力盡きて無條件降伏し、イギリスは危く虎口を脱したのであつた。

今次大戦と英船舶

第二次大戦が勃發してイギリスは、またしても、いや、それ以上の危機に直面し、國民は「飛行機よりも船を造れ」と絶叫し、このまゝで推移するならば、イギリスは船不足のために絶命するであらうといはれてゐる。

即ちドイツ側の發表によると、今次大戦の開始以來、六月末までに撃沈した敵船は一千九百六十四万吨に達し、またイギリスも一千二百二十六万吨を撃沈されたことを確認してをり、兩者の平均値をとつても、一千五百四十五万吨に及び、特に昨年の秋以來、目にみえて減退して來てゐた撃沈数は、年が改まると共に、

一九四二年一月	四〇〇・六
二月	五二五・四
三月	六四六・九
四月	五八五・〇
五月	九四二・〇

と、ものすごい勢いで艘上りに上昇し、既に昨を越したものと思ひこんでゐたイギリスを、極度に狼狽させてゐるのである。

さらに大東亞戦争の勃發によつて、わが海軍は、傳統の見敵必殺の精神を發揮して、太平洋、インド洋、南アフリカの廣漠たる大海原を舞臺に前古未嘗有の大作戦を展開し、米英艦隊の主力を撃滅する一方、通商破壊戦にも驚異的な大戦果を擧げてゐる。

即ち七月十八日の大本營發表と七月二十七日の追加發表を綜合すると、帝國海軍は開戦以來、七月十六日まで飛行機によるもの
百九十四隻 八十二万九千トン

潜水艦によるもの

百七隻	七十九万五千トン
艦艇その他によるもの	
七十三隻	三十八万二千トン
合計	三百七十四隻、二百六十六千トン

を撃沈してをり、このうちとくに注目すべきことは、我が航空部隊の大戦果が、船舶数において潜水艦、艦艇その他が擧げた綜合戦果を凌駕してゐる點で、航空部隊の活躍は、近代戦争に劃期的な航空機時代を創造したといふことが出来る。

また我が潜水艦部隊も、いよ／＼その本領を發揮し、六月上旬から七月上旬の一ヶ月に西インド洋、南阿方面で敵船二十五隻、約二十万吨を撃沈し、これまでの月平均十万吨の戦果を一躍、倍加させてゐるのである。

我が帝國潜水艦の戦果を、前述のドイツのそれと比較すると、幾分少いやうにも思はれるが、われ／＼はまづ第

一に、帝國潜水艦の活動水域がドイツの戦場に比較して遙かに廣大であることを知らねばならない。即ち帝國潜水艦が活躍してゐる太平、インドの南洋に比較すると、北海や大西洋は猶、額に過ぎないのである。

第二に、獲物の数が全く比較にならないことである。獨逸潜水艦の活躍水域は、アメリカ、歐洲航路、南、北米航路等が縦横に交錯し、現在、イギリスの生命は、これらの交通路によつて僅かに維持されてゐるのであるから、米英がこの海面上に全輸送力を集中してゐることは當然で、従つて獨逸潜水艦の戦果の大きなこともまた當然であるといへるのである。

ところが西インド洋は、全く趣を異にし、僅かにインド—西アジアとインド—南阿、オーストラリア—南阿の三航路に過ぎず、それも我が海軍部隊の威力の前に、細まつてゐる

状態である。二つづれにしても、東西相呼應して、猛威を振ふ種族潜水艦の活躍によつて、月百万トン撃沈も易々たるものとみられてゐる。

船舶不足に喘ぐ英

これに對し聯合國側の保有船高と造船能力はどうであらうか。

第二次大戦勃發の直前、即ち昭和十四年（一九三九年）六月現在のイギリス船舶は、流石に世界一を誇るだけであつて、植民地を合せて八千九百七十七隻、二千百万トン、全世界の船舶六千八百万トンの約三分の一を獨占し、世界第二位のアメリカの一千八百八十七万トンを遙かに凌駕してをり、さらに開戦後、オランダ、ベルギー、ギリシヤ等の中立國船舶でイギリスに走つたものと、獨逸よりの拿捕九百五十万トン、アメリカよりの購入百万トン、新

造船等二百百万トンを合せて一千二百五十万トンを繰り入れると、約三千三百万トンに達してゐた。

これから前記の撃沈トン数を差引くと、現在のイギリス商船は二千三百万トンを割つてゐることは確實で、さらに損傷、修理船とか軍用、官用等のものを差引くと、輸送用に充當できる船舶は、せい／＼一千万トン程度に過ぎない。

ところが一方、イギリス平時の輸入貨物の總量は、一年間に六千五百万トンから七千万トンに上つてをり、これらのうち食糧品、原料品、完成品その他を極度に使用制限しても、五千万トン程度は絶対に必要とみられてをり、この五千万トンの物資を輸送するためには、三千七、八百万トンの船舶が必要である。

元來、イギリス船の回轉率は、平時において年三回程度とみられてゐたが、今次大戦によつてヨーロッパ大陸

の市場を失ひ、前述の通り主力をアメリカ大西洋方面に集中してゐるため、その航海距離は、戦前とは比較にならない程に遠大なものとなつてをり、さらにドイツ空軍による港灣の損傷、輸送船團制による速力の減退等のために、その回轉率は相當に減少してゐるものと思はれるが、一方、大東亞戦争の完敗によつて、東亞、インド、オーストラリア等の遠距離航路を殆んど廢棄してゐるために、全體的にみると、イギリス船の回轉率は平均三回半前後であらう。

従つてイギリスの現有船舶一千萬トンを三回半回轉すれば、延ト数は三千八百五十萬トンとなり、前述のイギリス所要物資の最低量五千萬トンをぎりぎり一杯に輸送できるわけである。

従つてイギリスの生命は、撃沈船舶と新造船舶の差如何によつて決すると

いふことが出来る。ところが前述の船舶の撃沈船舶の増加に對しイギリスの造船力は、平時年に百五十萬トンと稱されてゐたが、資材、勞力の不足、造船所の空爆等のために、現在では年に六十萬トン程度とみられ、アメリカもまたせいぜい年二百萬トンが關の山とみられてゐる。

即ち米英の造船能力は年に二百六十萬トン、月にして二十萬トンに過ぎないのに、日獨伊三國は毎月八、九十萬トンも撃沈してゐるのであるから、イギリスとしては、坐して死を待つ以外に道はないわけで、イギリスは現在、アメリカ船舶五百八十萬トン（アメリカ船舶は、前述の通り約一千二百萬トンであるが、河川、湖沼用のものが多い）を最後の頼みとして僅かに生き長らへてゐる有様で、「海に生き、船で發展」したイギリス帝國が、飢饉線上を彷徨しつゝ、遂には全身不隨となり、「船に

減る歴史の悲劇を演ずる日は刻々と迫つて來てゐるのである。

挟撃に慌てる米國

一方、アメリカはどうかといふと、ルーズヴェルト米大統領は、去る一月六日、議會に教書を送つて、アメリカは本年中に船舶八百萬トン、明年中には一千万トンを造船すると宣言したものの、ドイツ軍當局の言のやうに、アメリカは、本計畫によると六月までに四百萬トンの船舶を就役させてゐなければならぬが、イギリス當局の發表によると、去る七月一日までにリバティ級（トン八百八十三隻が進水したのみで、四百萬トンの代りに、僅か百八十三萬トンが成立したに過ぎない）のである。事實、アメリカは鋼材、熟練工、勞働者の協力の不足のために、造船は意の如くならず、一方、大東亞戦争の勃發以來、わが潜水艦は、アメリカ西海岸において敵船舶約二十隻を

撃沈してをり、さらに帝國潜水艦の活躍に呼應して、ドイツ潜水艦は、去る二月以來、アメリカ東海岸およびカリブ海を縦横無盡に暴れ廻り、三月十四日までに百五十隻、百萬トン（うち油槽船五十八隻、四十四萬トン）を撃沈、五月に入つてからは、セントローレンス、ミシシッピの兩河の奥深く進入して商船を撃沈し、アメリカ國民を恐怖のどん底に陥れたが、六月三日のアメリカ海軍當局の發表によると、大東亞戦争の勃發以來、聯合國側の損失船舶は百九十八隻で、そのうちアメリカの喪失船は、百十七隻に達してゐる。

このやうにして今やアメリカ合衆國は、樞軸國潜水艦のために挾撃されて身動きも出来ぬ有様で、特に相次ぐ油槽船の撃沈（アメリカ船舶協會の發表によると、三百五十隻、二百六十萬のうち五分の一を失つたことである）は、石油輸送力を平時の五十五％に減少させ、石

油の國アメリカに石油飢饉を現出させてゐるが、なほ東亞の石油資源の喪失と相俟つて油槽船の激減は、ディーゼル・エンジンを主とするイギリス船舶にも致命的な打撃を與へ、樞軸國潜水艦の魚雷攻撃を免れ得ても、重油不足のために動くに助けず、まさに泣き面に珠といつた觀がある。

なほイギリスの泣訴に負けて、アメリカは相當量の船舶をイギリスのために動かしてゐるが、それはまことに飛んで火に入る夏の虫をのまゝで、徒らにドイツの撃沈船舶を増加させるのに役立つのみである。

第二戦線問題と船舶

たゞ英米船舶の撃沈激化によつて不幸中の幸ひともなつてゐることが一つある。それは、いはゆる第二戦線の問題である。

東部戦線におけるドイツ軍の一大攻

撃の前に、セヴァストポリ、ケルチは相次いで陥ち、さらにコーカサスの玄関ともいふべきロストフもまた潰れ去り、ドイツ軍は、息つく暇もなくドン河を渡つてひた／＼とスターリングラードに押し寄せ、ソ聯の危機は、まさに絶頂に達し、ソ聯は米英に對し直ちに第二戦線を展開するやう矢の催促をしてゐるのであるが、米英はことさらに自重して動かさず、「第二戦線結成の意志は、山ほどあるが、惜しむらくは兵力を送るに足る船舶なし」と體のいゝ遁辭を弄してゐる現状である。

事實、近代化された兵員を輸送するには、一人につき十トン前後の船腹を要するといはれ、第一次大戦當時アメリカが二百六萬の大軍をヨーロッパ大陸に送つたことを、いま再現することは、現在の船舶状況からみると、一つの夢でしかあり得ないのであつて、第二戦線結成は、いはゆる米英流の謀

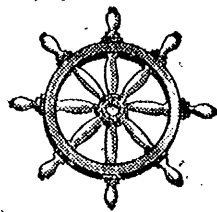
略に過ぎないであらう。

共榮圈建設の鍵は船

かやうに船舶の不足は、米英の作戦に、また國民生活に甚大な影響を與へ、船舶問題は、英米の命取りとなるであらうといはれてゐるのであるが、**開戦以來、五月二十日までに喪失したわが海軍關係の輸送船は十七隻、六万二千トン、同じく五月三十一日までの陸軍關係の損失は、三十一隻、約十六万トン、合計四十八隻、二十三万餘トンに過ぎない。**

ところが、十數万トンの増加となつてをり、また沈没した敵船の中で引揚げ修理の可能なものは十萬トンに上り、既に數万トンを引揚げ修理し終つてをり、さらに作業を續行中である。もとくわが國は、英米に次いで世界第三位の海運國として、世界に雄飛して來てゐたのであるが、大東亞戰爭の勃發後、敵英米船舶を東亞の海面から驅逐し去り、従つて大東亞海の海運は、全面的に我が船舶によつて賄はなければならなくなり、さらにまた戦線の擴大に伴つて、軍用船舶の需要はいよいよ増大して來てゐる。

なほまた、大東亞共榮圈内の國々は、大東亞海に點在し、これらを結ぶものは、船であり、また、これらの土地から産する豊富な物資を完全に利用し合ふためにも、船は絶対に必要である。まことに船こそは、大東亞戰爭を完結し、大東亞共榮圈を建設する鍵である。そして、これがためには現有船舶では決して十分とはいへず、大東亞の共榮のために、世界の福祉のために、大なる構想を以つてする一大造船が緊要となつたのである。そこで政府では、去る第八十回帝國議會に計畫造船に關する法律案を上げ、これに基づいて戦時標準船が決定され、全國の造船能力の總力を擧げて建造に邁進してゐるのである。



建艦と造船の一元化

戦時特例の勅令改正

大本營海軍報道部

「造船事務に關する所管等の戦時特例に關する件」の勅令改正が、七月二十八日附で公布された。同勅令の改正は、建艦と造船を一元化して、海軍大臣の所管としたもので、大東亞共榮圈の確立に最も必要な船舶の建造に萬全が期せられることになつた。

一、海軍管理工場におけるものはかりでなく、およそ長さ五十メートル(約五百總トン)以上の鋼船の製造、修繕とその船舶の検査の事項、およびこれに必要な船舶用機關、船舶用資材、船製品その他船舶用品に關する事項、ならびにそれらの製造および修繕に關する事業の監督、助成に關する事項

が更に海軍大臣の管理に移ると共に、二、資材および船製品の點に關しては、長さ五十メートル未満の船舶に

たが、今回の勅令改正によつて、さらに

必要なものうち、主要なものが必要に關する事項

二

現在、世界で最も重要なものの一として擧げられるものに船舶問題がある。

わが國においても、大東亞戰を完遂するために船腹を擴充することの必要なることは言ふまでもないところで、すでに戦時標準型船舶による計畫造船の遂行など、いろいろな措置が講ぜられ、さらに今回の勅令改正などによつて、いよゝ萬全を期せられることになつたが、船舶問題について最も個々の深い英米では、造船、修繕に關する事項ばかりでなく、戦時海運統制策を強行して、死物狂ひで船腹問題の窮狀を打開しようと努めてゐる。

英米における戦時海運統制の狀態を記すと、大體つぎの通りである。
英國は、第一次歐洲大戰の經驗からしても、世界のいづれの國よりも船舶問題に大きな備蓄を持つだけに、今次歐洲戰爭が勃發するや、速早く昭和十四年十二月には遠洋不定期船を徵用、その後さらに遠洋定期船、沿岸近海定期船をも徵用し、昭和十六年一月に

は殆んど全部の船舶を徵用したが、さらに大東亞戰爭が勃發してアメリカもまた船舶不足の渦中に入るや、昨年末チャーチル、ルーズウェルト會談を行つて船舶問題を討議し、その結果、去る一月に英米海運調整共同委員會を設立して、いはゆる船舶のプール制を實施した。即ち、これによつて船舶關係一切の資材と、資材のストックを、英米間にプールすることになり、また船舶についても同様の措置を執ることになつた。

米國では、さらに國內に避難中の樞軸船舶を利用する方策を立て、昭和十六年六月に外國船接收法を制定、保護抑留中の船舶合計八十四隻、約四十五万九千トンを受け、物資輸送の航路に使用したほか、昨年夏には、いはゆる

寫眞週報

- ☆ 軍神加藤少將とその生立ち、幼少八歳の學童から戦死までの記念すべき寫眞
- ☆ 大任を果した廣田特派大使
- ☆ 廣田大使一行とタイ國の歡待ぶり
- ☆ 復興全きセラエー軍港
- ☆ 囚人部落も皇軍に協力する
- ☆ 配給の標準に歡呼湧く
- ☆ 片足で踏み登る一萬二千尺
- ☆ 防空待避所の効果とその作り方
- ☆ 壮丁に金種あるべからず
- ☆ 埼玉縣秩父町の在郷軍人の壯丁訓練
- ☆ アメリカ渡來の皆虫「アリガニ」渡來戦

防空待避所の作り方

いかに焼夷弾が落ちて来ようとも、一つ残らず必ず消し止めるといふ防空必勝の信念を以て、自分の家庭を、また職場を守る事が大切であることは勿論ですが、焼夷弾だけでなく同時に爆弾も併用される事がありますから、もし不用意に身體を高所に曝したり、徒らに外に出てゐると、その爆弾の破片や爆風によつて、全く無益の危害を蒙ります。ですから敵機が見えたり、高射砲が聞えたりして爆撃の危険

が近づいた時や、防護監視員から知らせがあつたら、特に防空の配置に在るものの外、速かに手近の適當な場所に待避して一時危険を避け、自分の家や職場に、爆弾や焼夷弾が落ちたその時にこそ、直ぐにとび出して行つて防護活動を始めるやうにしなければなりません。

即ち待避は決して單に逃げ隠れることではなく、積極的に防護活動をするため、一時無駄な危害を避けて待機

することです。待避はたゞ伏して低い姿勢を取つてゐるだけでも、相當効果はありますが、やはり各家庭や職場毎に待避所を準備して置くのがよいのです。待避所には鐵筋コンクリート造や土藏のやうに丈夫な壁を有つた室や地下室、地窖の類があれば、これらをそのまま利用すればよいのです。こんな既存の施設がない場合に、新しく待避所を作る場合の御参考に、次に防空待避所の作り方の要領を述べませう。但しこれは特に防空當局から設置をすすめられた都市だけのことで、その他の地域では差當り作る必要はありません。むしろその資材を重要都市へ廻してやる位の心意氣であつて欲しいと思ひます。

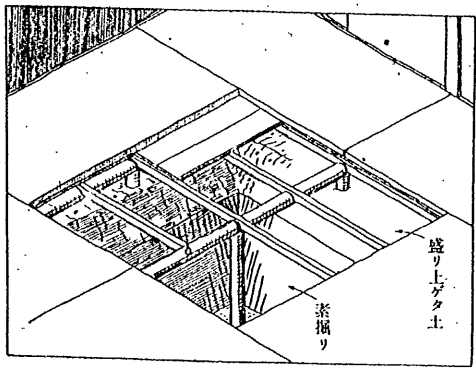
どこに作ればよいか

まづ何處に設ければよいかといふこ

とを考へてみますと、家の外に作るか、家の中に作るか、二つの場合が考へられますが、一般には家の中に作った方が、雨水の流入の虞れがなく、夜間や厳寒時の使用を考へてみても一層便利であると思ひます。なほまた外に作るよりも家の中にある方が、自家に落下する焼夷弾がよく分り、應急防火のためにも出動も容易であると考へます。

では家の中に作るには、床上が真いか床下が真いかといひますと、床上よりは位置の低い床下の方が安全です。そして土は立派な掩護物ですから、床下に穴を掘つて礮や床板を外せば、すぐ待避所に使へるやうにするのが、最も手近な方法の一つです。

以上は一般的に考へてみて、何處に造れば一番簡易で、しかも安全かといふことを申し上げたのですが、もちろん家の事情で床上に作った方がよい場合もあり、屋外に設ける方がよい場合



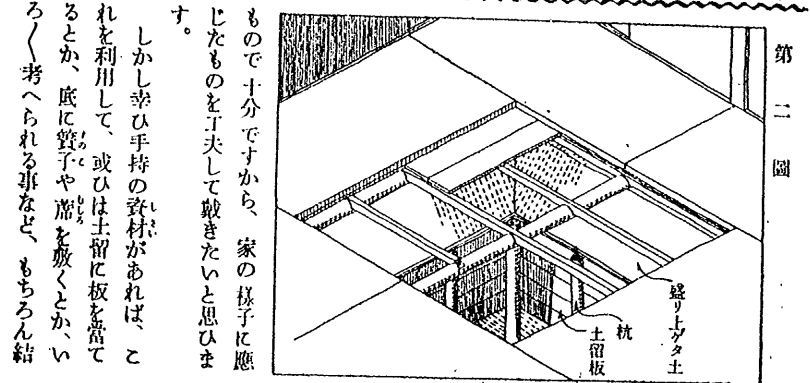
第一 図
屋内地下に作る場合

もありませう。これらはそれ／＼情況に応じて考へねばなりません。

それで立派な待避所になります。體を伏せてゐるのならば、穴の深さも僅かで済みます。また、萬一附近に爆弾が落ち、その衝動でいろ／＼の物が落下して來るとしても、床が自然の掩蓋となつて支へてくれますから誠に便利です(参考第一圖)。

この時、穴を掘つたために建物にひびが來るといけませんから、建物の基礎からは三〇センチ位は離して掘つて下さい。

元來、待避はそんなに長時間に亘つて行ふ必要はないのですから、待避所を作る場合にも、物資不足の折から貴い資材を濫山使用し、また勞力をかけるやうなことは、ぜひ避けなければなりません。土質がしつかりしてゐる所では、適當に勾配をつけさへすれば、紫掘のまゝでも結構です。またどんな形式のものでなくてはならないといふやうなことは決してありません。簡易な



第二 圖

もので十分ですから、家の様子に應じたものを工夫して載きたいと思ひます。

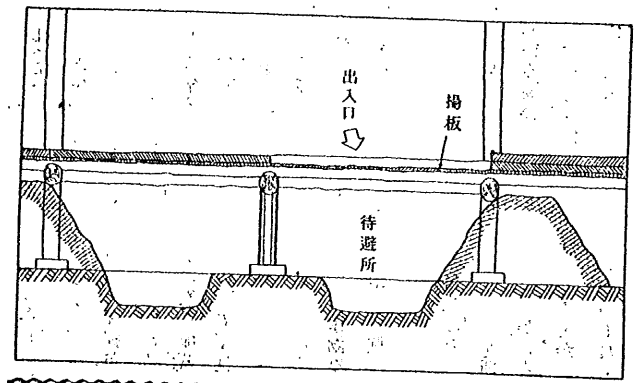
しかし幸ひ手持の資材があれば、これを利用して、或ひは土留に板を當てるとか、底に簀子や席を敷くとか、いろ／＼考へられる事など、もちろん結構

構です(参考第二圖)。

床下を掘つてみると地下水が近く、またガス管や水道管が通つてゐて、體を伏せるだけの深さが得られないといふ場合には、土を周圍に盛り上げて、その深さを補へば結構です(参考第三圖)。

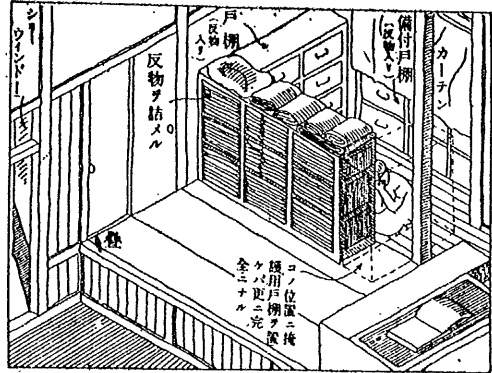
弾片除けの材料

- 地上に盛り上げた部分の土の厚さは八〇センチ(約二尺六寸)あれば、十分弾片の貫通を防ぐ効力があります。
- なほその他
- 一、土籠や空箱に土砂を固く詰めたものなら……七〇センチ(約二尺三寸)
 - 二、板と板との間に砂、糠、石等を詰めしたものなら……五〇センチ(約一尺七寸)
 - 三、角材を積み上げたものなら……五〇センチ(約一尺七寸)
 - 四、疊を重ねたものなら……九〇センチ(約三尺)



第三 圖

の厚さがあれば、同じ程度に弾片の貫通を防げます。弾片よけの材料は、必ずしもこれ等に限つたわけではなく、



商店などでは商品がよい材料になりませんが、徹して目方の重いものが有効です。また厚さは、これよりも多少薄くてもそれ相當の効果があります。

第四圖

屋内の床に待避所を作るには、部屋の中や押入のまはりなどに右のやうな弾片よけの材料を並べて、その間に待避所として利用すればよいのです。特にこの場合には、日常の生活や仕事に餘り不便のないやうに工夫して下さい(参考第四圖、第五圖、第六圖)。

待避所の大きさ

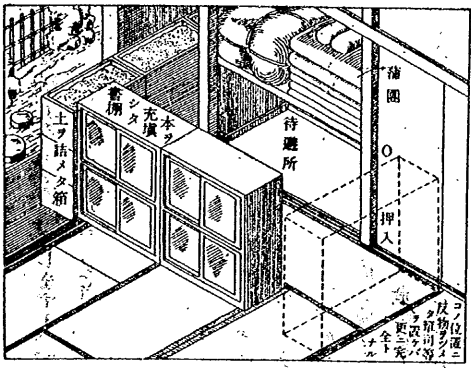
待避所の大きさの問題ですが、短時間のことですから多少窮屈でも、家族が皆這入るだけの広さへあればそれで十分です。一般に畳一枚敷位の広さがあれば、坐つてゐるならば大人四人、伏してゐるならば二人位は十分入れます。

なほまた一ヶ所の待避所に餘り多数の人を收容しようと、萬一、直撃弾等によつて損害を受けた場合に、影響するところが大きくなりますから、出来るだけ一ヶ所の規模は小さくし、多人

敷の所では、分散して作るやうに希望します。

高層建築物の場合

鉄筋コンクリート造の建物の中にある事務所のやうなところは、その建物自身が相當の防弾効力を持つてゐますから、その部屋をすぐに待避所として利



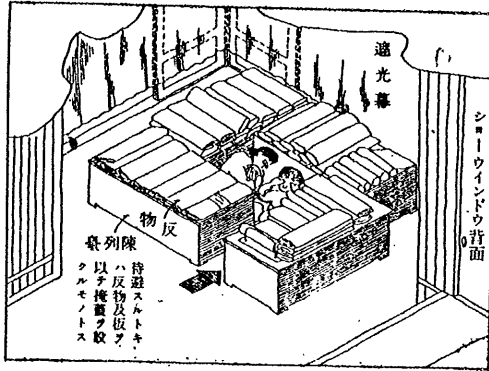
第五圖

用すればよいのです。たゞ一般的に上層より一二層目の部屋、半地階、または地階で外壁に接する部屋、地面または隣接建物の屋根に近い階の外壁に接する部屋、狭い中庭に面する部屋、特に大きな部屋等は他の部屋に比較すると安全度が低いですから、事情が許すならばなるべくこれを避け、第二階以上の階(前記の上層より一二層は除く)にあつて、しかも外気に面しない所、例へば中廊下とか、地階に在つて外壁に接しない室等を使用すると特に安全です。

もし種々の事情で一二階に在る部屋全體を待避所として使ふ場合には、爆弾によつて窓や出入口は容易に破壊され、弾片や爆風が侵入し、またガラス等が飛散しますから、窓にはほゞ人間の背の高さ位まで土嚢や土砂を詰めた箱をしっかりと積上げるとか、

出入口には防護壁を設けるなど、これ等の開口部から弾片や爆風が侵入しないやうに防護の設備をした方がよろしい。

第六圖



さらに待避所として使用する部屋の中は、書類の詰つた戸棚のやうなもので

適宜區劃するやうに配置しますと、一層安全度が増しますから、これらの方法を工夫して下さい。

工場の場合

工場はしばしば爆撃目標となりますから、待避所の必要であることはいふまでもありません。また十分待避の訓練をして置くことは、絶対に必要なことです。殊に重要工場では、危険が迫るまで仕事を継続せねばならない関係から、遠く離れた所に待避することは許されず、持場の附近に待避せざるを得ないこととなりますから、豫じめ十分準備と工夫が肝要です。

原則として工場の建物が木造の時は一般家庭における待避の要領に、また鉄筋コンクリートの場合には前記の事務所の場合に準じて、それ／＼工夫すれば結構ですが、工場にはしばしば

米國の對印野望

去る七月十四日、全印國民會議黨執行委員会は、イギリス政治勢力のインドからの撤退と、インド人による臨時政府樹立を要求する決議を採擇し、八月七日に開催の會議黨總委員會で最後の承認を求め、英國側がこの要求に應ぜぬ限り、八月中旬頃から斷乎として反英不服従運動を開始する旨をガンジも言明するに至り、いよいよインドの政治的動向は、全世界の注視的となつて來た。

インドの反英激化に關聯し、かねてからインドに意圖を有するアメリカ最近の對印書策振りこそ、嚴視を要するものであらう。

インド人の對米感情

一體、一般インド人の米國に對する友好感といふものは、米國が黑人等にどういふ待遇を與へてゐるか、フィリピンやキューバを實際にどのやうに強壓して來たかを、やゝもすれば見落した自由平等博愛の愛看板や、第一次大戦の初期に米國當局が、當時米國に亡命してゐたインド獨立運動者達へ同情らしい態度を示したことなどを取りあげて、去る四月のクリップス英特使の訪印當時までは、殆んど無條件と言つてもよい程に良好であつた。

たゞそのクリップス交渉が、英米側の希望通りには進まぬのを見て、米國の新聞等が「英國の提案を呑み込むことがインド人のためであらう」といふ、インドを全く踏みつけた眞意を暴露した結果、インド人の無條件的な對米友好には、相當なひびが入つたが、何しろ總人口三億九千万を擁するインドのこととて、多くのインド人の心裡には、なほ未だ米勢力暗躍の餘地を残してゐると傳へられてゐる。

米の對印依存物資

元來、米國は、インドの黃麻、マン

ビットがあつたり、地下に倉庫があつたり、さげせば一般家庭にないやうな施設があつて、これらは有効な待避所として利用できるでせう。また材料や製品を置き方を少し變へれば、その間隙が立派な待避所となり、またこれらのものがない場合でも、機械や道具の間に身を伏せただけでも相當危害を軽減しますから、萬一、爆彈が落ちて來さうになつたら、突壁の間にどりするか、各自で工夫して下さい。

たゞ工場には石油タンクや火藥庫のやうに破壊されれば周圍に相當危害を及ぼすものがありますから、待避にはこれらの近所を避けるやう注意しなければならなりません。

以上、一般木造家屋の家庭における待避所を中心に、高層建築物や工場における待避所の作り方を一般的に説明したのですが、建物の様式が千差萬別

であると同様に、待避所を何處にどういふふうで作ればよいかといふことは恐らく千差萬別であらうと思ひます。

要は待避の精神や待避所の狙ひ所を十分會得して、實際待避所を作る場合には形式に捉はれず、既存の設備はこれを利用し、また手持の材料は十分活用するやう工夫研究することが肝要で、もしどうしてよいか分らない場合には、責任ある者の指導を受けて下さい。

最後に待避所を作つたら、そこから飛び出してすぐに防護活動に移れるやう、バケツや砂等の消防器材や用水等の置場所にも前以てよく氣をくばり、いざといふ時にまごつかぬ

や等工夫して置くことも必要であり、また待避所を最も有効に利用できるやうに防護監視員との連絡、出入の動作等について十分訓練を重ねて置くことも肝要です。

なほ待避所のない場所での心得としては、附近の地物等を利用した伏せの姿勢が最も簡易な待避方法であることとを常に忘れてはなりません。

(内務省防空局)

大東亞戦争とわれら

教學局編纂
定價 二十錢
送料 四錢

本書は大東亞戦争の完遂の目的は我が帝國の大精神に基つき道義的な世界新秩序を確立するにあることを明らかにし、絕對必勝の國民生活確立に資せんがために編纂せられたる簡明平易なる解説書である。

内閣印刷局發行
書店にありませう。

ガン、雲母等に依存するところがすくなく、現に、日本のインド洋進出の脅威が、米國に與へてゐる影響は、一般の想像以上だといはれてゐる。

米國はインド東部ベンゴール地方に特産する黄麻の大消費國で、この黄麻は、穀類、棉花、コーヒ、砂糖、肥料、飼料等の包装用として不可欠な物資で、通常でも一ヶ年最低五十万ポンドをインドから仰いでゐり、インド産黄麻の對米供給の不圓滑は、米國の農工業に重大な支障を惹起してゐる。

マンガンは、これまでソ聯とインドのみで世界産額の六割を占めてゐたが、米國はこの兩地方からの輸入に俟ち、國內生産四万トンに比し輸入額は百万トンに達してゐた。ところが地中海における樞軸勢力が壓倒的となり、ソ聯からの輸入は杜絶し、インドが唯一の供給地となつたが、今また、インド洋が帝國海軍のために脅かされ

るに及び、米國は俄かに自國內の生産目標を六十万トンに引上げ、自給自足を圖るため躍起となつてゐるが、所詮は机上案の域を出ぬために焦慮してゐり、かくて米國鐵鋼界も、不可欠資材のマンガンを不足に行惱んでゐる。

また雲母も、インドが世界産額の八割までを占め、その大部分はビルマ寄りの東部諸地方で産出され、これに對する米國最近の輸入額は、一ヶ年約六百万ポンドとみられ、米國國內の産出額は、僅かに百五十万ポンドにすぎず、インドから雲母供給の不圓滑となつた今日、國內増産のみでは到底必要量を充たし得ず、電氣工業界に深刻な不安を掻き起してゐる模様である。

武器貸與法適用の肚

かやうな状態にあるため、米國側は、インドにおける英勢力の遺産を英國の臨終前に接收することは、單に有

利なばかりでなく、自國産業の所要資材の供給を確保する必要から、つとにインド進出の機会を窺ひつゝあつたのである。

従つて米當局は、去年の三月、武器貸與法を實施するや、英國のみならずインドにも逸早く適用し、それ以來、或ひはインド西部にドックを建設し、或ひはインド南部のマイソール土侯國首都バンガローアに航空機工場を建設し、或ひはまた、インド東部に化學品製造工場を建設するといふやうに、インド各地に各種の工場を數多く創設した。これらは何れも貸與法に基づくものであるため、さしあたりインド側の出費は要せず、かつ局部的ではあるがインド労働者に對する新たな需要も起り、一見インドの人々は、恰も米國の恩澤に浴してゐる恰好を呈してゐるのである。

あくまでも武器の貸與供給をこととして、決して武器の悉皆贈與を意味してゐるものではなく、武器貸與法に基づく貸與物資の代償に關聯し、高利貸的な底意を持つてゐることは、すでに貸與物資を滿喫してゐる英國朝野ですら、わざ／＼貸與法による物資の清算協定を結ばなければ安心できぬことからも明らかである。

米國化狙ふ後門の狼

米國が自己の利益なしには何事もせぬといふことは、蔣政権援助について去年の十月に香港で開かれた英米會談でも暴露された。この會談は、支那における英米の經濟的陳營再建の立場から、重慶側の經濟再建を援助するため、具體的方針取極めを目的としたものと傳へられたが、當時、英側は重慶治下の重大な通貨膨脹の建直しを根本問題としたに對し、米側はあくまで

も重慶治下の對米供給用の原料生産の促進を重點として譲らなかつた。

かゝる方針は、先頭五週間に亘つて地元民の妨害なしにインド現地調査を遂行した米國のインド經濟開發技術團にも、そのまゝ踏襲されてゐり、「今日のインドは、生産、補給、運輸等の統合が必要であり、そのため所要の材料を全部米國から取寄せる措置を講じた。なほインドが西亜方面の兵器廠となるためには、さらに國內軍需工業施設を大擴張する必要がある。」

との團長グレイ博士の報告は、米國の對印野望を遺憾なく裏書してゐる。即ちインド物資の米國向け生産を確保し、かつ對米搬出の輸送機關を確保するやうに、インド産業を「英國的なもの」からインド自主化を飛び越えて「米國的なもの」に移行させようとする目論んでゐるのである。しかも、インドを西亜方面の兵器廠たらしめようとするなど、全くインド三億九千万の人々を

莫迦にした話であつて、現在のインドとして希求するところは、インド民衆自體の厚生産業そのものにほかならない。インドは、米國の武器貸與法の適用により、諸種の軍需工業が勃興し、いかにも恩恵のみを蒙つてゐるやうではあるが、前述の通り、これらは何れも今後のインド經濟構構が、やゝもすればインド本然の姿に復興されず、米國化する危険を多分にはらんでゐるのである。

とにかく、地味な經濟部門から、英國の政治勢力の類勢にとつて代つて、インドの指導権を獲得しようとする米國の火事場泥棒的な野望こそ、今日まで「インド人のインド」の旗印の下に、政治的獨立を實現するため、血みどろの抗争をつゞけて來たインド人にとつて、いはゆる前門に虎を防げば後門に狼、進むの類で、誠に油断のならぬものとなつてゐるのである。



体力章検定に

水泳が加はりました

体力章検定は昭和十四年から実施され、今年で第四回が行われるわけですが、今までの成績をみますと、検定者も年々多くなり、昨年などは、百万人近くが合格し、特に中級、上級の合格者が目だつて多くなつてゐます。

水泳は必須の戦技

この体力章検定の種目に、今年から新たに水泳が加へられることになりました。

泳ぐことは、體育の點からみますと、脊柱を伸ばして、立派な姿勢を作り、特に全身の筋力を発達させて弾力性を増し、また心肺部の機能を高める理想的な運動で、特に健康の基礎である運動で、特に健康の基礎である皮膚を非常に丈夫にします。また實用的な効果からいひますと、萬一の水に泳げると非常役に役立つといふのが、今までの水泳奨励の理由でしたが、これは今となつては第二義的なものになつて來ました。必ず一度は戦場に立つ今日の青少年にとつては、水泳こそは必須の戦技であるといへます。

水泳は元來わが國では水練といはれ、武藝の一つとして武士の必修の武技であつたので、今日、再び國民の武技として、射撃、銃剣道、行軍等の戦技訓練などと共に大切なものになつて來ました。特に入隊後は、泳ぎを習ふ機會は餘りないのですから、それまでに自ら進んで泳ぎを習得するやうに心掛けることが肝腎です。

海軍軍人が泳ぎを習得せねばならぬことは當然ですが、陸軍でも敵前上陸、渡河、架橋、或ひは行軍に、傳令に、斥候に、戦場での任務を完遂するには、泳ぐことが絶対に必要で、どんな場合でも水に溺れないといふ自信を以て行動すれば、自然に勇氣は百倍し、勇敢に行動することが出來ます。

標準は三百メートル

従つて水泳は、必須の検定種目とすべきですが、土地によつては全く水に縁のない所もあり、また泳ぐ機會に恵まれない都會人などのことを考慮して、今年は無条件に種目にしましたが、近い將來には必須種目にする豫定です。

水泳の種目は、距離泳を基準にして、これに時間泳、速泳の二つに分けて代行できることにし、また合格級も泳げることいふ能力を限度として一つの種目にし、泳ぎだけで上級、中級、初級と區別することはしません。

次に標準は、三百メートルの距離を泳げる能力を限界としましたが、これは凡そ三百メートルを泳げる者は、必要次第で四百メートルでも、千メートルでも泳げるもので、この程度の泳力があれば、軍隊でも役立つからです。従つてこの検査

は、優秀な選手級の者を對象としたものではなく、また高い程度の泳力を試験するためのものでもなく、國民のすべてに、特に男子青少年に、最少限度泳げる能力を授けようといふのが目的です。

實際、全然泳げない者でも、この程度の距離でしたら、毎日一、二時間を熱心に十日も練習すれば、完全に泳げるやうになるものです。特に十四、五歳位の發育期の者は、四、五日も練習すれば、合格する程度に泳力がつくものです。それには、検査會場が出来る前に、各地でいろいろの施設を利用して水泳練習會とか初心者講習會などを開いて、それを水泳検査會場に延長するやうにしたいものです。

受検するには

水泳の検定は、準備などの關係

次に昭和十七年度の体力章

改正された検定法

係で基礎種目の検査會場のやうに簡単に實施できないことが多々あります。従つて特別の會場を決めるとか、合同で實施する場合もありませうが、道府縣知事が検査會場として指定または認定した會場で受検すればよいのです。

まづ体力章検定票を受け取り、水泳検査員から成績の記入捺印を受け、これを持って基礎検査會場に行つて基礎種目を受検すれば、その成績によつて基礎検査の検査員が総合的に合格を認定して呉れます。そしてこの水泳検査に合格した上で、基礎検査種目に合格すれば、基礎種目の成績に從つて初級、中級、上級の体力章に泳力を表示したものを下付されます。

検定で、これまでと異つた點を挙げますと、一度、体力章検定に合格した者が、引き続き受検して合格しても、その成績が同級かまたは前年度よりも下級の場合には、新たに體力章は下付されないことと、これは物資等の關係もありますが、體力章を大切にさせるためです。

尤も毎年受検する場合には、今年からその成績を體力手帳に記入することになりましたから、その成績はつきりと分るわけですが、もとく体力章検定は、その體力や能力を出来るだけ長く伸ば、保持するためのものですから、自分の體力を保持し、試験するために毎年受検するやうにしたいものです。

なほ各方面から体力章検定を制度化して、青少年の義務制にすべしといふ要望があります。が、實施上の點その他から法制定するまでにはなつていません。

が、今年からは國民體力法とも十分に連絡をとり、實施する管です。即ち體力手帳には、體力の形勢的な方面と、疾病異常等の全般的な身體状況を體力法によつて記入する一方、運動機能や総合的體力を明記して、一生體力の歴とするもので、従つて体力章検定も實質的には義務的に近いものになつたわけですが、體力法は、今年から満十五歳から二十五歳までの男子に實施することになりましたので、數へ年の關係で、數へ年十五歳の者と、十六歳の一部の者は、體力手帳を持つていませんが、その他の者は全部持つてゐますから、体力章検定を記入することになるわけですが、従つて、水泳受検者が基礎検査を受検する際には、體力章検定票と一緒に必ず體力手帳を持つて行つて、その成績を記入してもらふやうにして下さい。(厚生省)

大東亞戦争日誌

22



撃、六月十一日以来、撃陸三十六機、撃破二機のほか、在港中の敵八千トン級商船を撃沈、一隻に大火災を生ぜしめた。わが方未歸還四機

擲弾筒三六、同彈藥一千、手榴彈十九箇と五万發、地雷二千二百七、電話機百五十八、無線機六、機關車六、貨車五十一、自動車五十五、乗用自動車・乗合自動車十八、飛行機エンジン三、レール二千七百、桐油三万一千噸、その他糧秣、被服、兵器具多数

六月二十八日(日)

シンケツブ島に無血上陸
陸軍部隊は、リンガ群島とスマトラ島の中間にあるシンケツブ島に無血上陸、島内を掃蕩

六月二十九日(月)

弋陽を完全占領
上饒を攻陥(十五日)した中支軍は、浙贛線の要衝弋陽を完全占領

六月三十日(火)

モレスビーにて三十八機撃墜
海軍航空部隊は、モレスビーに出

七月一日(水)

浙贛線の打通なる
浙贛線を東西進中の中支軍東西部隊は、第三、第九戦區軍を撃滅し、七月一日午前十時半、横峰城頭に感激の歴史的握手を交はした

七月六日(月)

支那事變五ヶ年の総合戦果
支那事變勃發以來五ヶ年間に於ける支那方面陸海軍部隊の総合戦果と我が方の損害を大本營發表

七月十日(金)

敵艦九十七隻を撃沈
帝國海軍は開戦以來、敵潜水艦九十七隻(うち撃沈五十九隻)を撃沈破

七月十五日(水)

海軍部隊、海南島の戦果
海軍部隊の海南島における大東亞戦争開始以來六月十八日までの総合戦果を發表

七月十六日(木)

帝國潜水艦の新戦果
大本營では、さきに帝國海軍の敵船撃沈の総合戦果を發表したが、さらに帝國潜水艦の新戦果が判明

七月十八日(土)

陸軍航空部隊の戦況、上開に據す
大東亞戦争勃發以來、マレー、ジャバ方面の航空撃滅戦、地上作戦の協力並に空中搜索に按群の武功を擲つた遠征部隊、同部隊および御本部隊に對し同方面陸軍航空部隊最高指揮官より、感状を授與され

七月十三日(月)

中支軍、瑞安を完全占領
麗水附近より新戦戦を起した中支軍は、七日には海口市を、十日には青田を攻陥して進撃を続け、遂に要衝温州を完全占領

七月十七日(金)

浙江河口に敵前上陸
海軍陸戦隊は、浙江河口を河川の實業村に敵前上陸を敢行、さらに進撃を敢行して、石衛城に突入、温州を攻陥して南下の陸軍部隊と感激の握手なる

七月十八日(土)

六月中の北支軍総合戦果
北支軍は六月中、冀中軍區剿滅作戦、對高樹勳作戦、蒙疆オールドス作戦、晋冀豫省境作戦を始め共兩軍に對し全地區に亘つて肅清討伐を敢行

七月十三日(月)

中支軍、瑞安を完全占領
麗水附近より新戦戦を起した中支軍は、七日には海口市を、十日には青田を攻陥して進撃を続け、遂に要衝温州を完全占領

七月十七日(金)

浙江河口に敵前上陸
海軍陸戦隊は、浙江河口を河川の實業村に敵前上陸を敢行、さらに進撃を敢行して、石衛城に突入、温州を攻陥して南下の陸軍部隊と感激の握手なる

露光量違いにより重複撮影

寄附

實檢の施行日

私達労働青年に登龍門の一つとして開かれてある實業専門學校卒業程度檢定は、今度はいつ行はれるのでせうか。八幡市 豊島生

文部省の回答 第二回

實業専門學校卒業程度檢定は、来る十一月九日を皮切りに十八日まで機械學課だけに於いて、横濱、神戸の兩高等工業學校、明治專門學校、東京高等工業學校の五校で行はれます。出願者は右の期限までに、文部省實業事務局宛に願書類を提出せよとの事です。受験票と受験者心得は、十月一日から七日までに文部省實業事務局から交付致します。

なほ高等農林、高等商業及び應用化學科、電氣科等の各科目の檢定は、目下考

究中です。

中味の無い小包

最近の小包郵便は、外包は殆んど破れ、中味ははみ出し、食料品などは中が空になつてゐる有様です。世界に誇る選信日本の當局の善處を切望します。

(山田 山心)

遞信省の回答 最近、小包郵便物の破損や内容品の不足等の事故を耳にします。取扱者に對し十分注意を與へてをりますが、これらの事故の原因には、包装の不完全に基づくものが極めて多いのです。近來、油紙や麻紐等の質が低下し、また入手が困難になつたためか包装が著しく粗雑になり、破損率が目立つて増加して来てをり、そのため内容品の脱落等も多い譯であります。例へば東京中央郵便局を見ましても、毎日何千箇といふ

澤山の破損小包を係員が補修してゐる状況です。そこで小包差出者の御協力を願ひ、包装を完全にして戴き、この種の事故の絶無を期したいと思つてをります。

(選信省事務局業務課)

田地の地目變換
私は現在田地を買入れ、宅地に地目變換したいのですが出来るでせうか。また小さな家を建て自作農位で

農林省の回答 田地を買入れたら(小作地には制限があります)、自作農になることは法規上自由です。宅地に換へるのは、五十坪以上ですと臨時農地等管理令の許可を要します。大東

重戦争遂行のため、農家は食糧増産に真剣に努力してゐるときですから、農地を宅地にすることはなるべく遠慮して戴きたいものです。

(長野 俣野生清)

昭十七年八月五日發行

週報

印刷局
東京市神田區
水田町一丁目一番地
東京市神田區大手町

定 價
一部、五錢(送料一錢)
▲外國郵便に依る地域は送料其一部十錢
▲預約送附希望の方は、一部五錢(送料一錢)の券を以て前金を送へ即申して下さい
▲特大致の場合はその都度郵便料金と空額を申付けます

所 達 申
全国各地官報販賣所
書店・新聞店・譯賣店

注 意
▲本誌より轉載の場合は必ず「週報如何なる雑誌」の旨を明記し、その轉載誌を情報局編輯部宛三部宛送り下さい
▲本誌記事の無断轉載は断り致します
▲掲載記事に對する御希望や編輯に關しての御意見も週報編輯部お知らせ下さい
▲本誌を他へお送りの場合は郵税一部一錢

貯蓄報國に

信託を利用す

御國の爲めに

一石二鳥

征戰の完遂に

生産力擴充
公債消化
資源開發

富強の基礎を

優秀なる人材の育成
「學資金の信託」
幸福なる家庭の建設
「結婚資金の信託」
堅実なる家業の設計
「独立資金の信託」

要請書明説

三井信託株式會社

本店 東京市本區橋本町
支店 東京市大區、京都、名古屋、福岡

實檢の施行日



私達事務青年に、登龍門の一つとして開かれてある實業専門卒業程度檢定は、今度はいつ行かれるのでせうか。八幡市 巻島生

文部省の回答 第二回實業専門卒業程度檢定は、来る十一月九日を皮切りに十八日まで機械學課だけに於いて、横濱、神戸の兩高等工業學校、明治專門學校、東京高等工藝學校の五校で行われます。

出願者は右の期限までに、文部省實業學務局宛に願書類を提出せよといひです。受験票と受験者心得は、十月一日から七日までに文部省實業學務局から交付致します。

中味のない小包

最近の小包郵便は、外包は殆んど破れ、中味ははみ出し、食品などは中が空になつてゐる有様です。世界に誇る誠信日本の當局の善處を切望します。

(前日 申心)

總務省の回答 最近、小包郵便物の破損や内容品の不足等の事故を耳にします。取扱者に對し十分注意を與へてをりますが、これらの事故の原因には、包装の不完善に基づくものが極めて多いのです。近來、油紙や麻紐等の質が低下し、また人手が困難になつたためか包装が著しく粗雑になり、破損率が目立つて増加して來てをり、そのため内容品の脱落等も多い譯であります。例へば東京中央郵便局を見ましても、毎日何千箇といふ

澤山の破損小包を係員が補修してゐる状況です。そこで小包差出者の御協力を願ひ、包装を完全にして戴き、この種の事故の絶無を期したいと思つてをります。

(逓信省事務局支務課)

田地の地目變換

私は現在田地を買入れ、宅地に地目變換したいのですが出来るでせうか。また小さな家を建て自作農位で出来るでせうか。

(長野 佐野生善)

農林省の回答 田地を買入れたら(小作地には制限があります)、自作農になることは法規上自由です。宅地に換へるのは、五十坪以上ですと臨時農地管理令の許可を要します。大東亞戰爭遂行のため、農家は食糧増産に眞剣に努力してゐるときですから、農地を宅地にすることはなるべく遠慮して戴きたいものです。

週報

昭和十七年八月五日發行

編輯者 報局
印刷者 東京市神田區永田町一丁目一番地
印刷局 東京市神田區大手町

定 價 一部、五錢(送料一錢)
(外埠郵便に依る場合は送料を以て前金を送、即中以下さい)
▲特大賣の場合には其の郵便料金をより差額を申渡します

所 達 申 全國各地官報販賣所
書店・新聞店・驛賣店

注 意 ▲本誌より特載の場合必ず「週報特別」の旨を明記し、その特載誌を情報局週報編輯部宛に郵送下さい
▲本誌記事の録音資料は郵送を致し
▲掲載記事に對する御意見を掲載に願ひの御意見は週報編輯部宛お知らせ下さい
▲本誌を他へお送りの場合は郵税一錢

貯蓄報國に

信託を利用する

御國の爲めに
一石二鳥
征戰の完遂に

生産力擴充
公債消化
資源開發

富強の基礎を

優秀なる人材の育成
「學資金の信託」
幸福なる家庭の建設
「結婚資金の信託」
堅実なる家業の設計
「獨立資金の信託」

説明書贈呈

三井信託株式會社

本店 東京市本區橋本
支店 東京市本區本町、大阪、京都、名古屋、福岡

編輯局報情

週報

號日二十月八

我が對敵放送戰
 統制會の進展
 大東亞の鑛工業電力方策
 油脂統制機構の單一化
 米の策動と中南米の近情

305號

昭和十七年八月十二日發
昭和十七年八月十二日發
（毎週一回水曜日發行）

五錢

週

報

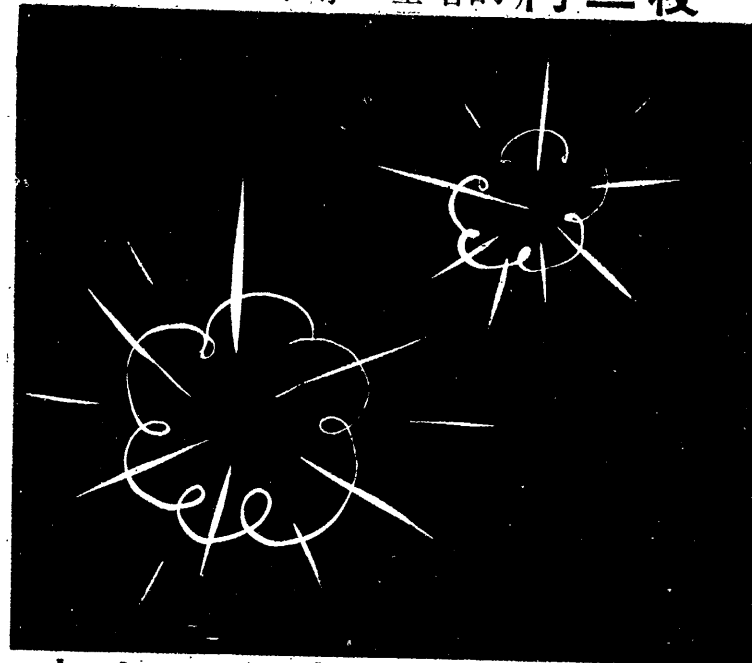
昭和十七年八月十一日發
昭和十七年八月十一日發
（毎週一回水曜日發行）

内閣印刷局印刷發行

べるし道の賛翼民は報週

てきんがんだ

(迄等四下以円千等一金増割)円二枚一



すまし出賣らか日八月毎

便郵てめ纏上以枚五は手切だん濟の籤抽
引と書證金貯置据別特上のし出差おへ局
いさ下てへ換

(判 A5 格規定國はさき大の書本)